



【子どもの笑顔】を支える【保護者、 地域の笑顔】と【教職員の笑顔】

## 五十沢小学校のよさを全国に ~11月7日(金)全国へき地教育研究大会新潟大会~

今年度の初めから、大きな行事として準備を進めてきた「第74回全国へき地教育研究大会新潟大会」が当校を会場校の一つとして開催されました。11月6日(木)は全体会として、長岡市立劇場に全国のへき地校の代表が集まり、開会行事やテーマごとに発表する分散会が行われました。7日(金)の当日、参会者は、朝7時に宿泊地である長岡市を出発して、8時ごろ来校しました。

PTA役員や近隣校の教職員からお手伝いいただき、会場づくりをし、心を込めてお迎えしました。北は北海道、南は沖縄、東京都八丈島などからおいでいただき、五十沢小学校の取組や子どもたちをご覧いただきました。



















全国へき地教育研究連盟副会長、南魚沼市教育長、南魚沼郡市教育振興会会長、指導者である中越 教育事務所学校支援第2課長、学習センター指導主事の方々をお招きしました。大勢の参会者から、「子 どもたちが生き生きと追求する姿が見られ、素晴らしかったです。五十沢小学校のこれまでの取組、地域と のつながりが結実したのだと思いました。」等々、それぞれの授業の感想や、お褒めの言葉をたくさんいただきました。授業等の詳しい内容は、学校ホームページに掲載しました。

私たち職員全員が、この研究大会をお引き受けした時点から、この日をどう迎えたらよいか、授業づくり、子どもたちをどう導くか、会場として必要な準備等々、みんなで迷いながら進んできました。この大会を通して、研究主任を中心に、職員が高め合い、支え合い、授業力が大きく向上したと、校長として自信を持って言えます。また、会場の受け入れや渉外、オンライン配信等、担任以外の職員も大いにがんばりました。そして、何より、明るく前向きにいつもと変わらず一生懸命授業に向かう子どもたちの姿が、私たちのがんばりに応えてくれました。また、当日ゲストティーチャーとして来てくださった さん、 さんなど、地域の方々のこれまでの支援、つながりがあったから、この大成功があったのだと強く思います。

これからも、この大会を機に、ますます「子どもたちと保護者地域、教職員のトライアングルスマイル」が輝けるよう、努力邁進してまいります。

## 自分で自分を伸ばそうとする心を育む 第2回 家庭学習時間調査・八海健康 week 11月10日~16日

結果は以下の グラフ(完成版 保護者)メディア時間が2時間過ぎる あたりでスケッチブックに絵を描いて いました自分で意識して時間を見なが ら使い分けていました。

保護者)本人のやる気がとても感じられた「週間でした。特に学習面はすごくがんばっていました。メディアに関しては多少大目に見た部分はありますが、ダンス動画を見て体を動かすなど工夫していました。

保護者)いか勉では、興味があること を調べてまとめたり算数の復習をした りするなど自分で考えて学習する姿が 立派でした。これからも続けてほしい です。 児童) タブレット学習の問題を「あともう一問だけ」と思ったら、学習時間をのばせた。

児童)自学をがんばりま したまだやっていないと ころをやったりしたら30 分達成できました。

児童) メディアを見るとき にタイマーを使ってがんば った。 保護者)目標に向かってがんばることができ自学は特に好きな教科などを一生懸命やっていてよかったです。八海健康 week のおかげで自分から進んで行動できていいなと思います。

保護者)自分で決めたルールを守れるように自分で考えて動いていたと思います。声かけをしなくても自主的に学習をして素晴らしかったです。

児童)がんばったことは勉強です。毎日 | 時間以上 勉強することをがんばりました。(保護者) 習い事が ある日もがんばっていてすごいと思いました。

と集計したものは後ほど学校保健委員会から出だされます。) のようになりました。どうやら中学校区で I 位をとった学年もあるそうです。





この取組から分かるのは、「子どもも保護者も教師も意識すればできる」ということだと思います。限られた期間だから、ということもありますが、「自分の生活、自分の学びは自分でつくる」「自

<u>分をのばせる</u>」ということをかなえられるのだと、心強く感じました。ご協力、ありがとうございました。これを機に、今後もぜひ日頃から、「自分をのばす」子どもたちを支えていただきますよう、お願いいたします。